

令和8年5月28日  
(危機管理防災課扱い)

陸上自衛隊第1ヘリコプター団長  
陸将補 伊東 佳哉 殿

鹿児島県知事 塩田 康一



鹿児島県内において実施されるV-22オスプレイの  
飛行訓練について（要請）

本県の危機管理・防災行政については、日頃から御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

オスプレイについては、令和5年11月に墜落事故が発生し、その後、予防着陸が奄美空港等で複数回発生するなど、県民の間には不安の声があるものと考えています。

標記訓練については、国の責任において実施されるものであり、住民の安心・安全の確保等に万全の対策を講じていただきますようお願いいたします。

記

- 1 オスプレイについては、令和5年11月の墜落事故等を受け、県民の間には不安の声があることから、今回の訓練の実施に当たっては、地元の意向を尊重するとともに、住家等の上空を極力避けて飛行し、22時以降の飛行を行わないなど、徹底した安全対策を講じること。
- 2 訓練の詳細については、より丁寧な情報提供を行うとともに、事前の情報と異なる状況が生じた場合は、その都度報告すること。
- 3 事件・事故等が発生しないよう万全を期すとともに、万一、事件・事故等が発生した場合は、国の責任において、迅速かつ適切に対処するとともに、速やかな情報提供を行うこと。